

[ イラク戦争開戦 2 周年糾弾 ]

# 米軍はイラク占領をやめよ！ 小泉は自衛隊を撤退させよ！

3月19日20日イラク戦争開戦2周年にあたり、私たちはまずファルージャの大虐殺と、10万人を超える犠牲者を出したこの無法で大義のない戦争を弾劾します。多大な犠牲者を出しながら米の占領支配と闘うイラクの人民に連帯し、全世界で闘われている国際反戦平和運動と反グローバリズム運動の結合した力で、米英軍の撤退、自衛隊撤退を勝ち取りましょう。

**総選挙強行で内戦の危機をもたらしたブッシュの責任を追及する**

現在のイラクは、宗派対立、民族対立が激化し、内戦の危機にあります。首都バグダッドをはじめイラク全土で米軍に対する攻撃が強まり、警察官やイラク治安部隊を狙った攻撃も続発しています。これが、イラク国民の2割を占めるスンニ派地域を切り捨て破壊し、殺戮し、完全に排除した「総選挙」の結果です。多くの子どもや女性、一般市民が巻き添えになり犠牲になっています。このような事態をもたらしたのは米の責任です。

**ファルージャの大虐殺糾弾！米は残虐な掃討作戦をやめよ！**

米軍は、昨年11月にファルージャで、街を封鎖し、皆殺し作戦を行いました。犠牲者は少なくとも6000人と伝えられています。街を追われた人々は難民となり、いまだに帰れない状態が続いています。



住民の身体検査をする米兵。アンバル州では今もファルージャ型の掃討作戦が続く

米軍は、このファルージャ型の残虐な掃討作戦を、現在も中部ラマディなどアンバル州で続けています。3月4日に起こったイタリア人記者やブルガリア兵「誤射」は、警告さえせずにイラク人を撃つ米兵のやり方の一端が表面化したにすぎません。米軍はファルージャだけでなく、広大なこの地域全体を抹殺するつもりなのではないでしょうか。米軍は直ちに作戦を中止すべきです。

**ベトナム戦争以来の危機に陥っている米軍**

このような米軍の無法で異常な侵略戦争は、米軍を破綻の縁に陥れています。米兵の死者は1500人を越え、手足切断、全身・半身不随、一般市民を虐殺したことによる精神疾患や深刻なPTSDなど社会復帰の困難なほどの重傷者が激増しているのです。5500人もの脱走兵や、現場での任務拒否などが増え続け、新兵の補充が困難になっています。米軍はベトナム戦争以来の危機に

「イラクの人びとの声にこたえ自衛隊の即時撤退を求める国会請願署名」にご協力下さい

**アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局**

〒580-0023 大阪府松原市南新町 3-3-28 阪南中央病院労働組合 気付

FAX 072-331-1919 e-mail: stopuswar@jca.apc.org <http://www.jca.apc.org/stopUSwar/index.html>

陥り始めました。イラク戦争開戦からの戦費は3000億ドルに膨れ上がりました。これはベトナム戦争に費やされた戦費の半分にも上ります。空軍が「節約令」を出す事態にまで至っています。戦費を捻出するため教育や福祉、社会保障を切り捨てる予算政策に米国民の反発が高まっています。  
**米国内では帰還兵、家族、母親たちの新たな闘いの始まり**

そのような中、2004年夏ごろよりイラク帰還兵の団体があらたに立ち上がり運動が拡大しています。米軍の即時撤退と反占領を掲げる帰還兵団体や戦死者の家族による反戦団体、息子を軍隊と戦場に送り込まないために徴兵制に反対する母親たちの会など全く新しい運動が生まれています。米では3月19日と20日にこのような運動が集結します。

**スペインショックから一年 新たな撤退のうねりは押しとどめられない**

3月15日ついにイタリア・ベルルスコーニ首相がイタリア軍の段階的撤退を表明せざるを得なくなりました。イタリアの反戦世論が米軍による誤射事件を契機に爆発し、首相の決断を迫ったのです。昨年3月19日スペインが撤退を表明した「スペインショック」からちょうど一年、今度は3000人を派兵するイタリアが「有志連合」の一角から崩れることになったのです。同じ15日ウクライナも、撤退開始を断行しました。17日にはブルガリアが撤退を表明しました。昨年よりタイ、フィリピン、ニカラグア、ハンガリー、ノルウェー、ニュージーランド、カザフスタン、ホンジュラス、ドミニカ、そしてオランダと続いた撤退の流れはもはや止めることができなくなっています。

**自衛隊は今すぐイラクから撤退せよ！改憲阻止、教育基本法改悪阻止！**

2月初め、自衛隊はイラク派兵の最大の目玉「給水活動」を終了しました。いったい自衛隊は何のために駐留し続けているのでしょうか。サマワの自衛隊はますます侵略の当事国である米・英そしてそれに忠誠を誓うオーストラリア軍と一体化することになります。まさに米占領に協力するためだけの派兵です。このような自衛隊がイラク国民の反発を買わないはずがありません。



クウェートでの自衛隊の射撃訓練

今年には戦後60年です。侵略戦争を反省し、平和への基礎を築くべき年です。戦争できる軍隊、戦争できる国造りを絶対に許してはなりません。日本国憲法を守り、教育基本法改悪を許さない闘い、有事法制の具体化を許さない闘い、「つくる会」教科書と歴史の歪曲を許さない闘い、自衛隊撤退を要求する闘いを結合して闘いましょう。2005.3.19.

**署名事務局の新刊パンフレット案内**

ドラコピッチ博士  
 講演記録  
**初めて明かされる！サマワ帰還米兵、イラク住民の劣化ウラン被曝** カンパ 700円



【イラク戦争被害の記録】  
 2004年11月：  
**ファルージャの大虐殺**  
 - 「選挙」と占領支配のために  
 住民と街を抹殺した米軍 - -  
 カンパ：700円



詳しくは署名事務局まで